

書道 I

対象クラス	2年生活文化科 3年ビジネス管理・ビジネス情報科	単位数	2
使用教科書	光村出版 書道 I		
使用副教材	ペン習字の基礎		
<p>「書道 I」はこんな科目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 ・書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を育てます。 ・自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を育てます。 			
<p>科目の到達目標（目標とする検定等）</p> <p>文字を素材とした表現活動が中心となり、さまざまな題材について、表現のねらいをもちながら、自己表現を展開していきます。</p> <p>(1) 「漢字仮名交じりの書」の学習では、ことばを題材として、芸術的な表現だけでなく実用的な表現も高めていきます。</p> <p>(2) 「漢字の書」の学習では、いろいろな書風に触れ、表現技術を高め、創作に活かしていきます。</p> <p>(3) 「仮名の書」の学習では、その成り立ちから、日本の伝統文化を理解し、美しさや表現技法を学んでいきます。</p>			

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
書への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな書の美に関心をもっているか。 ・意欲的に表現し、書の美を感じ取ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出する「作品」 ・自分の作品制作時及び鑑賞等のノート ・学習活動への参加状況(制作への取組、鑑賞の態度など) ・1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容を総合的に判断し決定する。
書表現の構想と工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの古典の特徴を捉え、表現活動に活かしているか。 ・表現を工夫して効果的な表現をしようとしているか。 	
創造的な書表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な用筆法を習得し、目的や用途に即して、創意工した表現ができるか。 	
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を客観的に観察し、その特徴をとらえ、幅広く理解や見方を深めることができるか。 	

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期	書的美と書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道 ・用具と用材 ・姿勢と執筆法 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写」と「書道」との関連及び違いについて理解する。 ・用具や用材によって、線質や表現が変わることを理解する。 ・正しい姿勢と執筆法を理解する。 ・各古典の線質の違いを理解し、その美しさの特徴を鑑賞する。 ・さまざまな用筆法を学び、字形と線質が作品の雰囲気にもどのように関係するかを理解する。 ・自分の思考や感動を表現できる語句を選び、楷書の特徴を理解し、表現方法を工夫して、作品を制作する。 ・各古典の線質の違いを理解し、その美しさの特徴を鑑賞する。 ・基本的な用筆法を学び、創作に活かす。 ・自分の思考や感動を表現できる語句を選び、行書の特徴を理解し、表現方法を工夫して、作品を制作する。
	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の表現と鑑賞 ・楷書の用筆法 ・楷書による創作 	
後 期	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の表現と鑑賞 ・仮名の基本的な筆遣い ・仮名の単体と連綿、変体仮名 ・仮名による創作（百人一首） ・創作作品の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作した作品を生徒同士で鑑賞しあう。 ・蘭亭序の臨書を中心に行書の筆遣いを身に付けます。 ・平安時代の名筆を通して、仮名の美しさとその特徴を鑑賞する。 ・仮名独特の基本的な用筆法を身に付ける。 ・連綿・変体仮名を使いこなし、仮名の美を追求する。 ・自分の思考や感動を表現できる和歌を選び、仮名の特徴を理解し、表現方法を工夫して、作品を制作する。 ・制作した作品を使い、百人一首大会を行う。 ・書の幅広い表現方法を理解する。 ・運筆・用筆の違いによる変化を理解し、自分の意図にあった表現方法を身に付ける。 ・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身に付ける。 ・自分の思考や感動を表現できる語句を選び、表現方法を工夫して、作品を制作する。 ・書の日常性へ目を向け、生活の中へ積極的に取り入れる。
	漢字仮名交じりの書 (硬筆)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の美 ・いろいろな線による表現 ・用具用材による表現の変化 ・紙面構成のバリエーション ・漢字仮名交じりの書の創作 ・創作作品の鑑賞 ・実用の書への応用 	

